



田原市を守る女性たち！ 私たち消防やっています！

日本初の女性消防士が川崎市で誕生してから今年で50年を迎えました。本市でも現在5名の女性消防士と10名の女性消防団員が、本市の安心・安全を守るため、さまざまな分野で活躍しています。

今回は、女性消防士の主な仕事と、女性消防団員の活動を紹介します。

消防課消防係 辻伸子

救急救命士として救急の現場や消防隊として災害現場で活動していますが、平成30年度から消防課で消防本部の予算や消防職員の福利厚生、研修など、消防に関する事務



を行っています。職員が働きやすい環境づくりを心掛けています。

予防課予防危険係 大島里奈

約2年間の育児休暇を経て、4月から職場復帰しました。現在、主に避難訓練や消火器の取扱いの指導、



防火協会の事務など、火災予防に関する業務を行っています。子どもと接する機会もあり、子育ての経験を仕事に生かしていきたいです。

育児と仕事の両立は大変ですが、さまざまな方のサポートを受けて頑張っています。

消防署警防第3係 杉原はるな

24時間勤務で、救急や火災、救助などの災害に備えています。救急救命士として救急の現場に出動することが多く、傷病者や、その家族に少しでも安心していただけるように、より良い現場活動に心掛けています。



女性消防団 平野郁子

昨年度、救命講習を指導する資格を取得し、各分団員に救命講習を指導しました。講習では、応急手当の重要性や訓練人形を使った心肺蘇生法、AEDの取扱方法など、受講者に分かりやすくアドバイスをしながら指導しました。

講習を受ける人が、いざという時に、適切な応急手当ができるような指導を心掛けています。



指定地域に対する 火災防ぎよ訓練

本市では、大規模災害時に消防水利の確保が困難な場合を想定して、田原土木協会と平成30年7月に災害時における消防用水の確保に関する協定を締結しました。そこで、3月7日(木)田原町地内に、迅速な消火活動や飛び火警戒などの確認検証を目的に合同訓練を行いました。

この訓練では、田原土木協会や田原警察を含む約30名が参加し、コンクリートミキサー車を活用した消防水利の確保要領や、水幕ホースを使用した飛び火警戒の有効性を確認しました。

今後も継続的に訓練を行い、各種災害に対応できるよう備えていきます。

